科目ナンバリング							
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー ：神経心理学 ILAS Seminar :Neuropsychology			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授　　月浦　崇		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール（対面授業科目）
開講年度・ 開講期	2024・前期	受講定員 (1回生定員)	10 (10) 人	配当学年	１回生	対象学生	全学向
曜時限	月5	教室	総人1207			使用言語	日本語
キーワード	脳 / 神経 / こころ / 認知 / 心理						

（総合人間学部の学生は，全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。）

[授業の概要・目的]

脳の様々な疾患によってヒトの脳が損傷されると，様々なタイプの高次脳機能障害が起こる．しかしながら，脳損傷とそれによって引き起こされる特異的な認知機能の障害の理解は，症状が複雑であるために未だに十分に理解が進んでいないのが現状である．本ILASセミナー：神経心理学では，脳の損傷によって起きる様々な高次脳機能の障害について，多くの症例を通してみることで，脳と心の関係性を理解し、考えることをめざす。

[到達目標]

・脳の疾患によって起こる様々な高次脳機能の障害についての臨床的観点からの知識を習得する．
・ヒトのさまざまな認知機能が脳を媒体としてどのように表現されているのかについて，基礎科学としての認知神経科学についての理解を深める．
・研究論文を読んでその内容をプレゼンすることで，プレゼンテーションの基本的素養を習得する．

・脳を介して心の働きを客観的に理解することを通じて，自らを客観的にみつめる力を体得する．

[授業計画と内容]

本ILASセミナー：神経心理学では，脳損傷患者を対象とした神経心理学的の症例に関する教科書を素材にし，毎回数症例を対象にして担当者にその内容をプレゼンしてもらい，それについて受講生皆で議論を行う．本セミナーを通して，脳損傷者による多彩な臨床症状を理解することで，認知機能の脳内機構を理解し，考える姿勢を習得する．

本セミナーで扱う内容は以下のとおり．各章ごとに１～３回の授業を行う．内容や順番は目安であり，変更する可能性があります．

１．ガイダンス（１週）
２．前頭葉（２週）
３．側頭葉（２週）
４．頭頂葉（３週）
５．後頭葉（２週）
６．大脳深部（２週）
７．白質ほか（２週）
８．まとめ（１週）

フィードバック方法は別途連絡します。

ILASセミナー ：神経心理学(2)へ続く↓↓↓

ILASセミナー　：神経心理学(2)

[履修要件]

2回生以上の履修希望者は，全学共通科目の講義科目の『神経心理学Ⅰもしくは Ⅱ』を受講済であることが望ましい．なお，定員を超えた場合は，2回生以上の履修希望者に関しては本要件を考慮して初回の授業にて選抜を行う．なお，総合人間学部の学生は別途選抜を行うので，総合人間学部のシラバスを確認の上，初回の授業に出席すること．1回生の受講希望者は，全学共通科目の講義科目の『神経心理学Ⅰ』も受講することが望ましい．

[成績評価の方法・観点]

出席状況（約60%）と発表内容（約40%）で評価する．ディスカッションへの参加の積極性も加味することがある．

[教科書]

鈴木匡子 『症例で学ぶ高次脳機能障害：病巣部位からのアプローチ』（中外医学社）ISBN: 9784498228221
本ゼミナールでは，この教科書を購入していることを前提に進めます．少し高価ですが，購入をお願いします．

[参考書等]

（参考書）
石合純夫 『高次脳機能障害学（第２版）』（医歯薬出版）ISBN:9784263213964
河村満・高橋伸佳 『高次脳機能障害の症候辞典』（医歯薬出版）ISBN:9784263213315
日本神経学会 『神経学用語集（改定第３版）』（文光堂）ISBN:9784830615375

[授業外学修（予習・復習）等]

授業中に別途指示する．

[その他（オフィスアワー等）]

オフィスアワーについては，KULASISを参照のこと．